

科目名	社会と情報 シラバス
-----	------------

担当者氏名	
-------	--

単位数	2	学年・組	1年1,2,3,4,5,6,7組
使用教科書	2東書 社情310 「社会と情報」		
副教材	自主作成ワークシート、授業内容説明用スライド、実習用フリーソフト		

<b>科目の内容と学習到達目標</b> ○科目の内容 ①情報を活用する ・わたしたちを取り巻く環境   ・アナログからデジタルへ   ・情報の表現と伝達 ②ネットワークを探索する ・インターネットの利用   ・ネットワークとコミュニケーション ③情報社会の課題を見つける ・情報化の影響と課題   ・法律と個人の責任 ④望ましい情報社会に向かう ・社会における情報システム   ・情報システムと人間   ・情報社会と問題解決 ○学習到達目標 情報の特徴と情報化社会が社会に及ぼす影響を理解させ、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するとともに効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。
--

<b>科目の評価方法</b> ①定期考査   ②ワークシートの内容(プリントにしっかりと記入されているか) ③提出物(授業で使用したプリントをファイルに綴っているか)   ④与えられた課題の提出状況 ⑤出席状況・学習状況(授業に対する積極的姿勢など)   以上のことを総合的に考慮して評価する。
--

<b>コンピュータ室利用時における留意点</b> ①機器や設備、資源を大切に扱うこと。   ②コンピュータ教室内への飲食物持ち込まないこと。 ③教室の利用時は必ず靴箱に靴を入れること。   ④パソコン等の各種設定の変更をしないこと。 ⑤椅子を滑らせて移動しないこと。
--

<b>学習計画</b>				
学習のねらい	期	月	学習内容	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報機器や情報通信ネットワークを適切に活用するために、情報の特徴とメディアの意味を理解させる。</li> <li>・情報のデジタル化の基礎的な知識と技術及び情報機器の特徴と役割を理解させるとともにデジタル化された情報が統合的に扱えることを理解させる。</li> <li>・情報を分かりやすく表現し効率的に伝達するために、情報機器や素材を適切に選択し利用する方法を習得する。</li> </ul>	1 学 期	4	①オリエンテーション	
		5	②情報を活用する	
		6	(1)わたしたちを取り巻く環境 ・情報とメディア   ・信頼できる情報とは ・メディアリテラシー	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション手段の発達をその変遷と関連付けて理解させるとともに、通信サービスの特徴をコミュニケーションの形態とのかかわりで理解させる。</li> <li>・情報通信ネットワークの仕組みと情報セキュリティを確保するための方法を理解させる。</li> <li>・情報通信ネットワークの特性を踏まえ、効果的なコミュニケーションの方法を習得させるとともに、情報の受信及び発信時に配慮すべき事項を理解させる。</li> </ul>	2 学 期	7	(2)アナログからデジタルへ ・情報のデジタル表現   ・デジタルだからできること (3)情報の表現と伝達 ・情報が伝わる仕組み   ・伝達のための表現と手段	
		夏季休業		
		9	③ネットワークを探索する	
		10	(1)インターネットの利用 ・インターネットの仕組み   ・WWWと電子メール ・情報の探索   ・情報収集の注意点	
		11	(2)ネットワークとコミュニケーション ・メディアの発達   ・誰でも表現者の時代	
		12	・コミュニケーションの特徴   ・情報発信と注意点	

<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報化社会が社会に及ぼす影響を理解させるとともに、望ましい情報社会の在り方と情報技術を適切に活用することの必要性を理解させる。</li> <li>・個人認証と暗号化などの技術的対策や情報セキュリティポリシーの策定など、情報セキュリティを高めるための様々な方法を理解させる。</li> <li>・多くの情報が公開され、流通している現状を認識させるとともに、情報を保護することの必要性とそのための法規及び個人の責任を理解させる。</li> </ul>	3 学 期	1	④情報社会の課題を見つける (1)情報化の影響と課題 ・情報社会の影 ・情報モラル ・セキュリティ (2)法律と個人の責任 ・情報社会と著作権 ・個人情報の保護 ⑤望ましい情報社会に向かう (1)社会における情報システム ・情報システムの種類 ・情報システムの発展と進歩 ・情報化と社会の変化 (2)情報システムと人間 ・情報システムの信頼性 ・誰もが信頼できる情報社会 (3)情報社会と問題解決 ・解決のステップ ・実際に解決してみよう
		2	
		3	

### 評価の観点・方法

・評価方法は、「科目の評価方法」をもとに以下の観点で総合的に評価する。

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報及びメディアに関する分野や、情報を伝達する手段・方法に関心をもっている。</li> <li>・情報通信ネットワーク及びコミュニケーションに関心を持っている。</li> <li>・情報社会の光と影について関心を持ち、情報モラルを身につけようとしている。また情報セキュリティ及び著作権等について関心を持っている。</li> <li>・様々な情報システムやこれからの情報化の進展に関心がある。また問題の解決に関心がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メディアの種類や特性を考え、信憑性の高い情報を選択することができる。また、受け手を考慮したメディアや表現方法の選択ができる。</li> <li>・情報通信ネットワークの適切な活用方法を考えることができる。</li> <li>・情報化社会の光の面について理解し、情報の技術の適切な活用方法について考えることができる。</li> <li>・情報システムがどのように活用されているか、ネットワークの関係性から考えることができる。また問題の分析や解決について考えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受け手を意識してメディアや表現方法を選択し、情報伝達や情報発信ができる。</li> <li>・様々な検索方法を用いて、Webページを表示することができる。また、匿名でのコミュニケーションにおいて、適切な発言方法を説明できる。</li> <li>・コンピュータに対する各種脅威において対策を考えることができる。また、著作権や個人情報保護について考え、情報を発信することができる。</li> <li>・情報システムや情報サービスの特性を理解し活用できる。また、問題解決の結果を発表できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メディアの種類や特性を理解し、信憑性の高い情報を選択することが重要であることを理解できる。また、デジタルデータであることによって情報の統合ができることが理解できる。</li> <li>・情報通信ネットワークの各分野における知識・技術について理解できる。</li> <li>・各種コンピュータに対する脅威について理解でき、それらに対する対策を理解できる。また、著作権や個人情報保護について理解できる。</li> <li>・情報システムとネットワーク及びデータベースの関係性を理解できる。また、具体的な問題解決に問題解決のステップを適用することができる。</li> </ul>

使用教材・教具等：コンピュータ及び周辺機器、プロジェクター、スクリーン、自主作成教材、実習用フリーソフトウェア

①定期考査 ②ワークシート ③提出物 ④与えられた課題の提出状況 ⑤出席状況・学習状況	1 学 期	課 題：学習プリントにおける各種課題、実習等で与えられた課題、タイピング 提出物：授業で学習したプリント、実習で制作したデータやファイルなど
	2 学 期	課 題：学習プリントにおける各種課題、実習等で与えられた課題 提出物：授業で学習したプリント、実習で制作したデータやファイルなど
	3 学 期	課 題：学習プリントにおける各種課題、実習等で与えられた課題 提出物：授業で学習したプリント、実習で制作したデータやファイルなど

### 備考

・このシラバスは沖縄県立北中城高校1学年の生徒を対象としたものである。